

平成25年第1回嬉野市議会定例会

一般質問通告書

嬉野市議会

平成25年第1回嬉野市議会定例会一般質問通告書

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
1	5	山口 政人	1 市職員の勤務時間管理について	1
			2 嬉野市の公共施設の老朽化対策について	
2	16	平野 昭義	1 家庭の日（第三日曜日）と部活動について	2
			2 結婚支援の取り組みについて	
			3 社会文化会館竣工記念に（NHK）のど自慢招致について	
3	4	山下 芳郎	1 体験観光の推進について	4
			2 源泉集中管理の進捗状況について	
			3 学童保育（放課後児童クラブ）について	
4	10	副島 孝裕	1 行政運営にかかる諸問題について	6
5	8	梶原 睦也	1 高校入学準備金貸付制度について	8
			2 障がい者福祉について	
6	13	神近 勝彦	1 学校給食について	10
			2 寡婦の所得控除について	
			3 フェイスブックを利用した地域物産の販売について	
			4 新幹線長崎ルートについて	
7	1	辻 浩一	1 いじめ、体罰問題等教育問題について	11
			2 観光業の振興について	
			3 スポーツによる誘客について	
			4 新政権の政策について	
8	2	山口 忠孝	1 教育問題について	13
			2 学童保育について	
9	15	西村 信夫	1 地方公務員（嬉野市職員）の給与削減について	14
			2 中国大気汚染PM2.5対策について	
			3 図書館向け視聴覚資料の貸出しについて	
			4 国保における生活習慣病の受療状況について	
10	7	大島 恒典	1 新幹線駅周辺整備事業について	16
			2 学校週6日制について	
			3 塩田津（伝建地区）及び市街地の消防対策について	
11	12	織田 菊男	1 法定外公共物〔河川占用〕の使用料について	17
			2 谷所分校の統廃合問題について	

12	14	田口 好秋	1 少子高齢化及び人口減がもたらす諸課題について	18
13	17	山口 要	1 災害時への取り組みについて	19
			2 行政文書の取り扱いについて	
			3 まちづくり振興について	
			4 組織体制について	
			5 介護問題について	
			6 観光問題について	
			7 教育問題について	
一 質 日	般 問 程	3月8日	山口政人、平野昭義、山下芳郎、副島孝裕、梶原睦也	
		3月11日	神近勝彦、辻浩一、山口忠孝、西村信夫、大島恒典	
		3月12日	織田菊男、田口好秋、山口要	

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25 年 2 月 18 日

通告者(議席番号 5 番)

山口 政人

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	市職員の勤務時間管理について	<p>最近、職員の病気休暇が多いように感じる。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 時間外・休日勤務の実態と管理について。</li> <li>2 職員の健康管理について。</li> <li>3 時間外勤務削減への取組みについて。</li> </ol>
市長	嬉野市の公共施設の老朽化対策について	<p>わが国では、現在、高齢化社会の進展に伴い、社会保障費の増大が大きな問題となっている。それと同時に、もう一つの大きな高齢化問題も存在している。それは、私たち市民の生活や産業活動を支える道路や橋などのインフラを含むさまざまな公共施設の老朽化問題がある。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市が所有する老朽公共施設は、種別ごとにどのくらいあるのか。</li> <li>2 市が所有する老朽公共施設について、今後、順次整備をしていく必要があるが、これに対する維持管理・改修・更新等に係ると見込まれる費用総額と財源の不足額について伺いたい。</li> <li>3 今後どういった計画で改修・更新を講じていくの伺う。</li> </ol>

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成25年 2月18日

通告者(議席番号 16番)

平野昭義

嬉野市議会議長 様

## 記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	家庭の日(第三日曜日)と部活動について	<p>バブル崩壊から20年以上経過する。この期間を失われた20年と言われるが、私は失われた40年と言いたい。わが国の高度成長政策は、ひたすらに物の豊かさのみを追い続け経済大国となったが、この間、失われたものは「心の教育」と私は考えている。</p> <p>今日のままの教育では、家庭・地域の崩壊を招いて行くのではと危惧するものであります。</p> <p>佐賀県は、平成14年から「ゆとり」教育を目指し、完全週5日制が実施され、第3日曜日を「家庭の日」と定め、家族の繋がり、地域との絆を深めることを提唱してきたが、10年を経過した今日、実施されている学校は数校しかない。</p> <p>勝利のみを目指してきた部活動が過熱し、真のスポーツ精神を忘れてきた指導者・監督などが問われている。そのような中、大阪市立桜宮高校生が自殺するという事件が起きたが、指導者の体罰が指摘され刑事問題となっており、その後、いじめ、体罰問題は重大な社会問題となって全国に拡大している。</p> <p>10年前、第3日曜日を「家庭の日」と定めておきながら、定着してこなかった、この10年間について大きく反省すべきでないか。市長・教育長は「家庭の日」への取り組みについて10年を経過した今日、どのように考えてこられたのかお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平成22年12月議会で、教育長は「家庭の日」は原則として、部活動の休止が望ましく保護者・指導者に理解をしていただくと答弁されているが、その後、協議を行ったのか。その内容と指導者などの意見はどうだったのか伺う。</li> <li>同議会で、練習時間の短縮も協議していくとあるが、その協議の具体的な内容は。</li> </ol>

<p>市長</p>	<p>結婚支援の取り組みについて</p>	<p>3 連日、体罰・いじめ・殺傷事件が発生し、日本のスポーツ、教育界にも暗雲が漂っている。 市長・教育長は「家庭の日」の意義をどのように考えてこられたのか、また、今後の考えを伺う。</p> <p>4 大阪市立桜宮高校生の一連の事件の要因は、学校側の理解不足との結論が出されたが、嬉野市では、部活動の責任者・部員との対話をされたことはあるのか伺う。</p> <p>5 新学期から「家庭の日」を定着させ、保護者や地域コミュニティと連携し、家族・地域の文化・歴史・伝統など、日本人としての誇りを再発見すべきと考えるが、市長・教育長の考えを伺う。</p> <p>結婚支援について、平成20年12月、平成22年6月議会で提案し、平成23年7月に武雄市・伊万里市に次いで嬉野市にも地域づくり・結婚支援課が誕生した。</p> <p>超少子・高齢化社会は加速し、地方は疲弊の一途を辿っています。5月の節句には、各地で勢い良く泳ぐ鯉のぼりの風景が地域の人々に元気を与えてくれましたが、近年、その姿もめったに見られなくなりました。</p> <p>しかし、担当課の努力により成果も上がって来ており更なる努力を期待するところであります。</p> <p>1 現在までの登録者数と成果について伺う。</p> <p>2 3市との意見交換もされているが、他2市の登録者数とイベントについて把握しているか。</p> <p>3 人口減少を最小限に食い止めるために、地場企業の支援と協力をしていくことにより、企業誘致はもとより雇用増加、さらには、人口増に期待されると思うが、市長の考えを伺う。</p>
<p>市長</p>	<p>社会文化会館竣工記念に(NHK)のど自慢招致について</p>	<p>旧塩田町の長年の懸案事項であった社会文化会館が平成26年3月に竣工するが、嬉野温泉の「美肌の湯」を全国宣伝する絶好の機会となると考える。</p> <p>1 全国に嬉野温泉の「美肌の湯」が、のど自慢を通じて放映されると、200名を超える予選会への参加者・家族・応援団のみならず、視聴者も「美肌の湯」を体験され、リピーターとして再び訪れていただくと思うが、招致をする考えはないか。</p>

## 一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25年 2月 19日

通告者(議席番号 4 番)

山下 芳郎

嬉野市議会議長 様

## 記

相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1、体験観光の推進について	<p>新幹線開通の前に嬉野の特性を生かした観光商品作りが不可欠と思うが、市長の考えはどうか。</p> <p>また、以下の体験観光について嬉野温泉観光協会と連携して商品化は考えられないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉の源湯のタンクを見せ嬉野温泉の良さを体感</li> <li>・大野原高原を生かしたアウトドアの体験観光</li> <li>・美野分教場跡、春日分校旧校舎の活用</li> <li>・春日溪谷での溪流釣り、釣り堀体験</li> <li>・溪流を生かした魚の養殖と販売</li> <li>・吉田産のオカリナ作りとろくろ体験</li> <li>・浦田川に陶土運搬船を浮かべ、陶土風景の見学・体験</li> <li>・トレッキングや歩こう会と温泉をマッチングしたコース紹介</li> <li>・新幹線嬉野温泉駅（仮称）に温泉の体験施設</li> </ul>
市長	2、源泉集中管理の進捗状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前一般質問したが、その後の進捗状況を聞く。</li> <li>・市長は所有者全員の合意に向けて、どのような協議をされたか。</li> <li>・市長の任期中の決意を聞く。</li> </ul>
市長 教育長	3、学童保育（放課後児童クラブ）について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育の認識についてどう思うか。</li> <li>・「放課後児童クラブ」の運營業務委託者について。</li> <li>・縦割り行政の弊害が問題化されているが、本市ではどうか。</li> <li>・「地域連携協議会」の状況について。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"><li>・国が策定検討をしている「地域子ども・子育て支援事業計画」にどう対応されるのか。</li><li>・小学校敷地内に、余裕教室利用ではなく専用室の設置ができないか。</li></ul>
--	--	---



## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25年 2月 21日

通告者(議席番号 10 番)

副島孝裕

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	行政運営にかかる諸問題について	<p>平成18年1月、嬉野市が発足してから7年を経過し、市政2期目の最終年にあたり、今までに定例会一般質問として政策提案してきた事や、日頃疑問に思っている事など、行政運営にかかる諸問題についてお尋ねしたい。</p> <p>1. 職員の定数について。</p> <p>① 嬉野市職員定数条例で定めた7項目のうち、定数を満たしていない事務部局があるが、その理由と今後の方針を市長に尋ねる。</p> <p>② 市長は常々、職員数に関して県内他市と比較した場合、人口に対して職員数が少ないと発言される。また、最近、職員の病気による長期休暇者が多いように思うが、定数不足による職員への過重負担になっていないか、市長と教育長に尋ねる。</p> <p>③ 即戦力となる優秀な人材を育てるためには、かなりの時間と経費が必要であり、団塊世代の大量退職による人材不足に対応するための施策をどう考えるか市長に問う。</p> <p>2. 「市長と語ろう、ふれあい対話集会」について。</p> <p>① 合併後、3回目の開催となるが、開催期間が長期にわたり、開催地区も少ないように思うが、今回の感想を尋ねる。</p> <p>② 今回の対話集会において、注目すべき質問や今後の市政において採用できるような提案など、発言の多いものをいくつか示して頂きたい。</p> <p>③ 給食センターの統廃合については、議会でも大きく取り上げられたが、市民の反応は如何だっ</p>

市長		<p>たか尋ねる。</p> <p>④ 吉田地区2カ所の会場で傍聴したが、内容が今までと変わりがなく、合併時の総合計画を中心にした進め方であったが、今後の市政の課題など積極的に提起し、市民の考えを直接問うべきと思うが、考えを尋ねる。</p> <p>⑤ 対話集会の今後の計画について尋ねる。</p>
市長		<p>3. エレベーター設置について</p> <p>① 平成18年3月定例会において、嬉野庁舎のエレベーター設置と合わせた2、3階の活用について一般質問をしたが、その後検討されたのか。</p> <p>② 嬉野庁舎について、耐震調査はどのようになっていますか、また、エレベーターの設置は可能か。</p>
市長		<p>4. 機構改革について。</p> <p>① 観光商工課の部署スペースについて、嬉野庁舎市民課窓口同様、来客の多い部署であり、嬉野温泉観光の窓口として非常に狭いと思うが、3階の空き部屋等を含めた嬉野庁舎全体の見直しを図るべきと思うがどうか。</p> <p>② 企画企業誘致課について、定住化対策、公共交通対策、情報ネットワーク事業などに加え、社会文化会館建設事業を抱えており、遅々として進展しない企業誘致事業の名称を削除し、「企画課」と変更してはどうか。</p> <p>③ 地域づくり・結婚支援課について、コミュニティ活動の推進、公民館活動や社会教育の推進、結婚支援・男女共同参画推進など多岐にわたっており、課名が長すぎると思う。「地域振興課」に改称してはどうか。</p> <p>④ 合併後、数回にわたり機構改革が推進されてきたが、まだまだ改革が必要と思われるが、その解決策は庁舎の統合であると思う。合併特例債の期限もあり、決断の時期と思うが考えを尋ねる。</p>

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25 年 2 月 21 日

通告者(議席番号 8 番)

梶原 睦也

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	高校入学準備金貸付制度について	<p>高校進学が当然のようになっている今日、家庭の経済状況が厳しく進学を断念せざるをえない子供がいる。</p> <p>就学支援については、公立高校授業料の無償制度、高等学校等就学支援金制度及び奨学金貸付制度がある。</p> <p>しかし、入学準備金については、民間又は国の教育ローンが主なものであり、低所得者にとってはこのような制度の利用が困難な方もおられる。</p> <p>大学や専門学校に係る入学準備金については、国の教育ローンが利用できなくても、奨学金の入学時特別増額貸与制度があるが、高校入学に係るものは対象になっていない。</p> <p>そのようななか、他自治体においては、様々な形態の高校入学準備金貸付制度がある。本市においても、経済的理由により就学を断念しなければならない子供を一人も出さないよう支援すべきであると考えがいかがか。</p>
市長	障がい者福祉について	<p>障がい者施策については、新年度から新たな障害者福祉計画に基づいて障がい者福祉の充実が求められている。そのような中、本市における障がい者福祉について以下の点を伺う。</p> <p>1 本市において障がい者手帳の交付についてはどのような手順で行われ、交付状況等どうなっているか。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
		<p>2 障がい者団体との連携について、どうしているか。</p> <p>3 障がい者の交通手段については、福祉タクシー券や民間交通会社の割引制度などがあるが現状はどうか。</p> <p>4 障がい者雇用については、佐賀県は数値的に他県より上位にあるが、実態はかなり厳しいものがあると思う。本市における障がい者雇用の取り組みはどのようにしているのか伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嬉野市の障がい者雇用状況</li> <li>・市内の障がい者の就労状況は把握されているのか。</li> <li>・就労継続支援事業の現状</li> <li>・本市の支援学校卒業生の就労や授産施設への入所等の支援</li> <li>・障がい者施設等からの物品等の納入状況</li> </ul>

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24年 2月22日

通告者(議席番号 13番)

神近勝彦

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨 (具体的に)
市長 教育長	学校給食について	<p>1. 給食センターの食材については、地産地消の取り組みをしているものと思うが、現在の状況と今後の方針はどう考えているのか。</p> <p>2. 新潟県三条市で地産地消の取り組みを聞いたが、農家と市が連携し食材を購入されている。このような取り組みが必要ではないのか。</p> <p>3. 以前の議会においても、給食に緑茶を提供すればとの質問があった。ごはんを牛乳で食べることについてどのように思うのか。また、和食をベースとした献立によって肥満児が減少した事例もある。将来への健康管理と和食文化の継承を進めるうえで、和食を中心した献立の推進が必要でないのか。</p>
市長	寡婦の所得控除について	<p>1. 法律上の寡婦には、非婚母子世帯は含まれない。よって、所得税の寡婦控除は発生していないと思う。このことについて、どのような考えをもっているのか。</p> <p>2. 所得税をもとに算出される住民税や国保、保育料、公営住宅家賃などは本市においてどうなっているのか。</p>
市長	フェイスブックを利用した地域物産の販売について	<p>2月21日のシンガポールでおこなった商談会の感想と今後の取り組みをどうするのか。</p>
市長	新幹線長崎ルートについて	<p>トンネル工事も終盤になりつつある。坑口の住民のなかには、新幹線開通後の騒音や振動を心配されている方もいる。地元説明会のおりにも機構側に、営業運行されている九州新幹線の坑口における現地視察を要望した。不安解消と懸案事項への対策をおこなっていくために、地域住民を対象とした視察をおこなうべきと思うがどうか。</p>

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25 年 2 月 22 日

通告者(議席番号 1 番)

辻 浩 一

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	いじめ、体罰問題等教育問題について	<p>平成23年滋賀県大津市のいじめ自殺事件が発生し、昨年は大阪市立桜宮高校体罰自殺事件、今年に入り柔道女子ナショナルチーム体罰問題が明るみに出た。</p> <p>そういった意味で今年は教育界、スポーツ界にとって大きな変革の年になるのではないかと思う。そこで、いじめと体罰について次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本市において、いじめの現況と対策はどうしているのか。</li> <li>2 認知件数と実態の乖離はないか。</li> <li>3 被害者、加害者の原因について、家庭的背景はないか。</li> <li>4 SSWの育成強化が重要と考えるが、いかがか。</li> <li>5 指導と体罰の線引きについて所感を伺う。</li> <li>6 言葉だけの指導は可能と考えられるか。</li> <li>7 今後、クラブ活動の方向性についての所感を伺う。</li> </ol>
市長	観光業の振興について	<p>以前から発言してきたが、市内経済活性化は、観光業の浮揚が急務だと思う。その対策として団体から少人数にシフトした宿泊客への観光アイテムの創設や強化、また本市で取り組んでいるインバウンド対策も重要だと考える。現在、東アジアを中心に中国、韓国、台湾、さらに今回SNS良品のセールスではあるが、シンガポールに行かれたことは、足がかりができ大変評価する所である。そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 シンガポールに行つての所感を伺う。</li> <li>2 インバウンド対策でのセールスポイントは</li> <li>3 尖閣竹島問題は、宿泊客数に影響がでないか。</li> <li>4 他国への展開は考えているのか。</li> </ol>
市長 教育長	スポーツによる誘客について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現在、嬉野温泉ロードレース大会が行われているが、本格的なマラソン大会に発展させる考えはないか。</li> <li>2 みゆき公園にクロスカントリーコースは必要ないか。</li> </ol>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	新政権の政策について	<p>3 スポーツ大会、合宿等の誘致について、今後の展開はどう考えているのか伺う。</p> <p>4 みゆきドームが完成し、また社会文化会館もできる。体育施設の有効利用を行うため、観光商工課と連携したスポーツ誘致の部署が必要ではないか。</p> <p>昨年政権交代がなされ、民主政権のコンクリートから人への政策から、自民の国土強靱化対策による防災減災の公共投資が予想される。本市においては、台風や豪雨等による災害が予想される。そこで次のこと伺う。</p> <p>1 本市にとっての防災・減災について喫緊の課題はないか。</p> <p>2 地元からの要望が多いのは何か。</p> <p>3 イノシシ被害の二次災害が考えられるが、その対策は</p>

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成25年2月22日

通告者(議席番号 2番)

山口忠孝

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	教育問題について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校生活の中に「うれしの茶に親しむ時間」としてティータイムを設けたらどうか。</li> <li>2 いじめ問題にどう対処したらいいのか、具体的な方法の教育はなされているのか。</li> </ol>
市長	学童保育について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成25年4月から新しい体制で行うように準備されていると思うが、その進捗状況はどうなっているか。</li> <li>2 これまで学童保育をやってこられた方々の知識や技術は継承されるのか。</li> </ol>



## 一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25 年 2 月 25 日

通告者(議席番号 15 番)

西村 信夫

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	地方公務員（嬉野市職員）の給与削減について	<p>1 総務省は平成25年2月13日、地方公務員の給与削減に関し都道府県の総務部長らを対象に説明会を開催した。市町にも給与削減要請があったと思うが具体的に趣旨説明を伺う。</p> <p>2 公務員給与水準（ラスパイレス指数）嬉野市は101県内19位である。国の要請に従って給与を削減した場合、職員の平均減額はいくらか。</p> <p>3 給与に加え、手当についても国と同様に引き下げよう求めているが、期末・勤勉手当（ボーナス）は9,77%、管理職手当は10%の削減を原則ととしている。手当に関する職員の平均削減額は。</p> <p>4 給与を削減した分は地域の防災、減災事業と元気づくり事業などに充てると言われているが本市の対策を伺う。</p>
市長	中国大気汚染PM2.5対策について	<p>中国で深刻化している微粒子物質PM2.5による大気汚染が県内でも環境基準値を超えて観測されている、本市の対策を伺う。</p>
市長 教育長	図書館向け視聴覚資料の貸出しについて	<p>嬉野市図書館はCDやDVDの貸出しシステムの整備がされていないが、今後の対応はどのように考えているのか。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨(具体的に)
市長	国保における生活習慣病の受療状況について	<p>1 嬉野市は各種検診の積極的な受信、健康指導、レセプト点検の充実強化を図り医療費の適正化を積極的に推進されているが、平成23年5月診療分レセプト点検(入院)では県下でも憂慮すべき状況であったが、現況を伺う。</p> <p>2 最近注目されている生活習慣病の若年化傾向が進んでいるが、本市の健康推進対策を具体的に伺う。 加えて、本市の平成24年度の特定健康診査の受診状況を示されたい。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成25年2月25日

通告者(議席番号 7 番) 大島 恒典

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	新幹線駅周辺整備事業について	<p>現在進められている周辺整備事業の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 農振除外申請についての見通し</li> <li>② 医療センターとの協議は進んでいるのか</li> <li>③ 工程表に沿った状況であるのか</li> <li>④ 区画整理地内の住宅移設について</li> <li>⑤ 現在フリーゲージトレインでの計画で進んでいるがフル規格での話は関係自治体の中で出てこないのか</li> </ul>
市長 教育長	学校週6日制について	<p>現在、国においても義務教育の改革が進められようとしている中、学校週六日制が全国的に広がりつつあるが、今後の市としての考えを伺う。</p>
市長	塩田津(伝建地区)及び市街地の消防対策について	<p>塩田津伝統的建造物群保存地区内は嬉野市においても貴重な財産が多数存在しており、防火及び消火対策には十分配慮しておくべきと考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 消火栓の数は足りているのか、今後の計画は</li> <li>② 浦田川からの取水について</li> <li>③ 塩田工業高校のプールを利用した取り組みができないか</li> </ul>

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25 年 2 月 25 日

通告者(議席番号 12番)

織田 菊 男

嬉野市議会議長 様

NO 1

質問の相手	質問の事項	
市長	法定外公共物〔河川占用〕の使用料について	<p>河川占用使用料について、旧塩田町は調査を行い条例に基づき徴収していたが、旧嬉野町は条例もなく徴収していなかった。また、合併後、公正を期すため、嬉野地区の調査が済むまで塩田地区の使用料徴収は行わないと聞いていた。そこで次のことについて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査の内容及び進捗状況は。</li> <li>2 現在までの調査に係る総費用額は。</li> </ol>
市長 教育長	谷所分校の統廃合問題について	<p>谷所分校の統廃合問題に関しては、合併後、何回も一般質問があった。現在、谷所地区も人口が減少し、私たちが小学生時代と比較して児童数も激減している。そこで次のことについて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 谷所地区の住民の考えを調査すべきではないか。</li> <li>2 今後の児童数の推移は。</li> <li>3 谷所分校に係る現在の経費及び今後の見込みはいくらか。</li> <li>4 現在の問題点及び今後の考えは。</li> <li>5 谷所分校の土地は、市所有のものか。</li> </ol>

## 一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成25年2月25日

通告者(議席番号14番) 田口好秋

嬉野市議会議長 様

## 記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	少子高齢化及び人口減がもたらす諸課題について	1 公共下水道、農業集落排水事業における既存施設の維持管理費について (1) 5年後、10年度、20年後のそれぞれの見通しとその対策は。
市長 教育長		2 学校問題について (1) 小学校の児童数減に伴い統合は避けられない問題と捉えるが、執行部の見解を質す。 (2) 学校給食センターの運営について今後の見通しは。
市長		3 定住人口対策として、既存公共施設の維持・管理・運営を今後どのように考えているのか。
市長		4 交流人口の増加を目的とした公共施設の、今後の整備について

# 一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成25年2月25日

通告者(議席番号 17 番)

山口 要

嬉野市議会議員 様

記

NO. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市 長	<p>1. 災害時への取り組みについて</p> <p>2. 行政文書の取り扱いについて</p> <p>3. まちづくり振興について</p>	<p>1. 災害時の「要援護者」の支援体制づくりについて高齢者や障害者、難病患者ら災害時に自力で避難できない「要援護者」の登録が県内の他市町と比較して少ない。</p> <p>① その要因と本市での作成方法はどうか。また、今後登録増に向けての取り組みはどうか。</p> <p>② 災害時の名簿開示に向けての考え方はどうか。</p> <p>2. 災害時避難所の標識設置について</p> <p>① 災害時避難所の市民への周知はどうか。</p> <p>② 避難所の場所を認知してもらう目的を踏まえ、分かりやすい「避難所誘導標識」を設置してはどうか。</p> <p>1. 行政文書の作成範囲拡大について</p> <p>① 政策決定の過程などを記録した行政文書の作成範囲について、本市における作成基準はどうか。また、今後その範囲を拡大することについての考え方は。</p> <p>2. 行政文書の管理について</p> <p>① 災害時の対応を含め、現状における行政文書の管理は十分に整えられているか。</p> <p>1. 創造都市ネットワークについて</p> <p>① 文化・芸術を生かした地域づくりを目指す「創造都市ネットワーク日本」が設立された。本市でも調査・研究してみようか。</p> <p>2. 「嬉野ファンクラブ」創設について</p> <p>① 現在開催されている本市出身者のふるさと会への対応は万全であるか。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
	<p>4. 組織体制について</p> <p>5. 介護問題について</p>	<p>② 嬉野出身者のみならず、全国に会費制ファンクラブ会員を募って、特産品を贈りながら、観光発信や物産振興を図ってはどうか。</p> <p>3. 通販サイト「FB良品」の取り組みについて</p> <p>① 「FB良品」への参加についてどう考えているか。</p> <p>② シンガポールにおける商談会での、消費者ニーズの反応はどうだったか。</p> <p>4. 自然エネルギー推進について</p> <p>① 自然エネルギー推進のなかで、市有施設の屋根を企業などに貸し出す事業を進める考えはないか。</p> <p>1. 人事問題について</p> <p>① 本市職員においては女性幹部職員の登用が低いように感じるがどうか。また、今後の積極的な登用についての考え方は。</p> <p>② 改めて問うが、人事評価制度は十分に活用されていると考えるか。</p> <p>2. 体制問題について</p> <p>① ふれあい対話集会において、陳情等を含め市民からの要望がなおざりにされているとの指摘があった。現状はどうか。また、そのことをどう受け止めているのか。</p> <p>② 今後について職員の意識改革や職場体制づくりについて改革が必要であると考えらるがどうか。</p> <p>1. 老々介護について</p> <p>① 昨今高齢化が進むなかで、老々介護が深刻な問題となっている。本市での現状について調査した経緯はあるか。</p> <p>② 今後、そのことへの対策はどのように講じていく考えか。</p> <p>2. 「介護支援ボランティア制度」について</p> <p>① 元気なお年寄りが、介護施設でお茶くみや行事の手伝いをする「介護支援ボランティア制度」が広まっている。本市でも検討してはどうか。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	6. 観光問題について	<p>1. 観光イベントについて</p> <p>① 嬉野温泉開湯 1300 年としてのイベントについてどのような検討がされているか。</p> <p>② やや下火になったとはいえ、「よさこい」の人気は依然として根強い。本市開催に向けての考えはないか。</p> <p>2. 観光プロジェクトについて</p> <p>先般職員有志による観光問題に対するプレゼンが開催された。</p> <p>① この報告をどう受け止め、今後どのように活用していく考えか。</p> <p>② 今後、このような横断的な研究会が広がっていくことを期待するがどうか。</p> <p>3. 行政視察について</p> <p>① 行政視察が増加し、観光にかなりの貢献を果たしていると思う。次に向けて早めに対策を講じておくべきではないか。</p>
市長 教育委員長 教育長	7. 教育問題について	<p>1. 教育委員会制度について</p> <p>① 現状における教育委員会の組織体制を含め、教育行政のあり方について所見を問う。</p> <p>② 教育委員の公募についての考え方はどうか。</p> <p>2. 体罰問題について</p> <p>① 本市における教育現場での体罰の実態はどのような状況か。</p>